

椿 俊太郎 総合研究センター特任助教が、「日本木材学会中国・四国支部第24回研究発表会」において研究発表賞を受賞しました。

「イノベーティブマリンテクノロジー研究育成」事業テニユア・トラック教員 椿俊太郎（つばき しゅんたろう）総合研究センター特任助教が、平成24年9月18日に徳島大学で開催された「日本木材学会中国・四国支部第24回研究発表会」にて、「チャノキ (*Camellia sinensis*) 葉のクチクラ膜の化学的特性の解析とバイオリファイナリーへの応用」という発表で、研究発表賞（口頭発表）を受賞しました。

本発表では、*C. sinensis*の葉のクチクラ膜の性質が葉の表裏、品種及び成長段階で変化する様子や、お茶殻中に残存するクチクラ膜成分をマイクロ波照射を用いて有効利用する技術について報告しました。

